



平成 28 年 4 月 19 日

九州地方整備局

18 時 00 分

【平成 28 年熊本地震対応】

災害現場での安全で効率的な調査の実施について

～3D 画像を用いて安全かつ効率的な調査に活用します～

国土交通省九州地方整備局では、早期の現場対応を目指しヘリコプターやマルチコプターで撮影した複数の写真をもとに、3D 画像モデルを作成しています。これにより、人がたどり着くことができない危険な箇所においても、災害の全体像を把握し、安全かつ効率的な調査に活用します。

1. 調査の概要について
別紙－1 参照
2. 調査箇所
 - ・ 熊本県南阿蘇村（阿蘇大橋周辺）

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
河川部 河川計画課長 坂井 佑介
電話：092-471-6331（代表）

《SfM (Structure-from-Motion) の活用例》

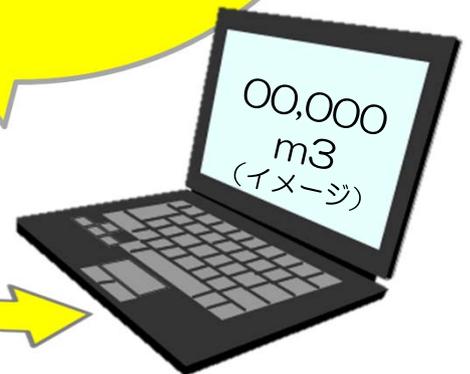
別紙-1



SfMは、ヘリコプターやマルチコプターで撮影した複数の写真をもとに、3D画像モデルを作成し、崩壊した規模や土砂量等を推定することが可能となります。主に、人がたどり着くことができない危険な箇所の調査に活用しています。



STEP4 :
崩壊した
土砂量算出



3D化されたモデル
(STEP3)



3D化されたモデル (STEP3)

